

不祥事根絶に向けた教育委員会のメッセージ

『不祥事を他人事と捉えず自分のこととして問題意識を！』

皆様には、日頃から児童・生徒の指導にご尽力いただいていることに感謝申し上げます。

大多数の皆様が素晴らしい実践をされている中で、残念ながら、一握りの教職員の起こした不祥事のために千葉県教育に対する信頼が揺らぎかねない事態となっています。不祥事を起こした教職員は、異口同音に「自分は大丈夫だと思っていた。」と言っています。

本年度、葛南教育事務所では、「不祥事ゼロ」を重点目標に掲げ、様々な対策を行っています。不祥事を他人事と考えずに、不祥事ゼロを目指して管内一丸となってがんばっていきましょう。

長島 貴浩（千葉県教育庁葛南教育事務所長）



『チーム東葛飾 一丸となって不祥事根絶へ！』

皆様におかれましては、日々の教科指導・生徒指導等、児童生徒の教育活動にご尽力いただき、感謝申し上げます。

今年度、県内での懲戒処分事案が昨年を上回るペースで発生しており、非常に厳しい状況です。この現状を打破するために、個々の倫理観の向上を図ることはもちろんですが、何よりも大切なことは、「不祥事を起こさない、起こさせない、絶対に一人も孤立させないあたたかな職場。」を作ることだと思います。

「5つのC～Compliance, Communication, Challenge, Create, Condition」を胸に、不祥事根絶に向けて、全力で取り組んでいきましょう。

堀子 榮（千葉県教育庁東葛飾教育事務所長）



『信頼を取り戻すために！』

私たちの仕事は、全てが「信頼関係」の上に成り立っています。先生と子どもはもちろん、保護者、地域社会、教育委員会との関係など……。「坊主憎けりや袈裟まで憎い」。ひとたび信頼を失うと同じ取組であっても、評価が全く逆になってしまうこともあります。今年度の危機的な状況に歯止めをかけ、たとえ時間がかかっても地道に信頼を築いていかななくてはなりません。

北総教育事務所では不祥事根絶の目的で、信頼回復に向けて9月～11月に児童・生徒・教職員を対象とした、独自の「セクシュアル・ハラスメント及び体罰に関する調査」を実施しています。不祥事根絶が教育の第一目的ではありませんが、「今できること」をひとつひとつ丁寧に着実に積み重ねながら、「すべては子どもたちのために！」チーム北総で頑張ります。

中澤 泰藏（千葉県教育庁北総教育事務所長）



『事務所は学校の応援団！不祥事根絶に向けて最大限のサポートをします！』

不祥事根絶のためには、不祥事を対岸の火事ではなく、自分のこととして捉える意識改革が必要です。また、教職員に仕事に対する慣れや気の緩み等の意識面での課題はないか、不祥事を引き起こしやすい体制・環境となっていないか、日頃から点検してリスクを軽減することが求められます。

このような視点を踏まえ、東上総では、①学校訪問時の不祥事根絶研修、②学校教育担当課長会議での不祥事根絶の取組の情報交換、③校長会議等での不祥事根絶に向けた講話、④各市町村の不祥事根絶研修に管理主事を講師として派遣等を行っています。今後も見直しを図り不祥事ゼロを目指してまいります。

吉田 洋一（千葉県教育庁東上総教育事務所長）



『サンサン南房総！』



「南房総を照らす太陽のようにサンサンと輝く学校、子どもたち、そして先生方であってほしい。」これが、南房総教育事務所の切なる願いです。

昨年来、どこの学校に行っても、子どもたちとしっかり向き合い、情熱を持って指導する先生方の姿と子どもたちの素敵な笑顔を見させていただきました。子どもたちを教える者としての自覚とプライドをもち、「不祥事ゼロが当たり前な南房総。」をみんなで気持ちを一つにつくっていきましょう！

岩瀬 好央（千葉県教育庁南房総教育事務所長）

